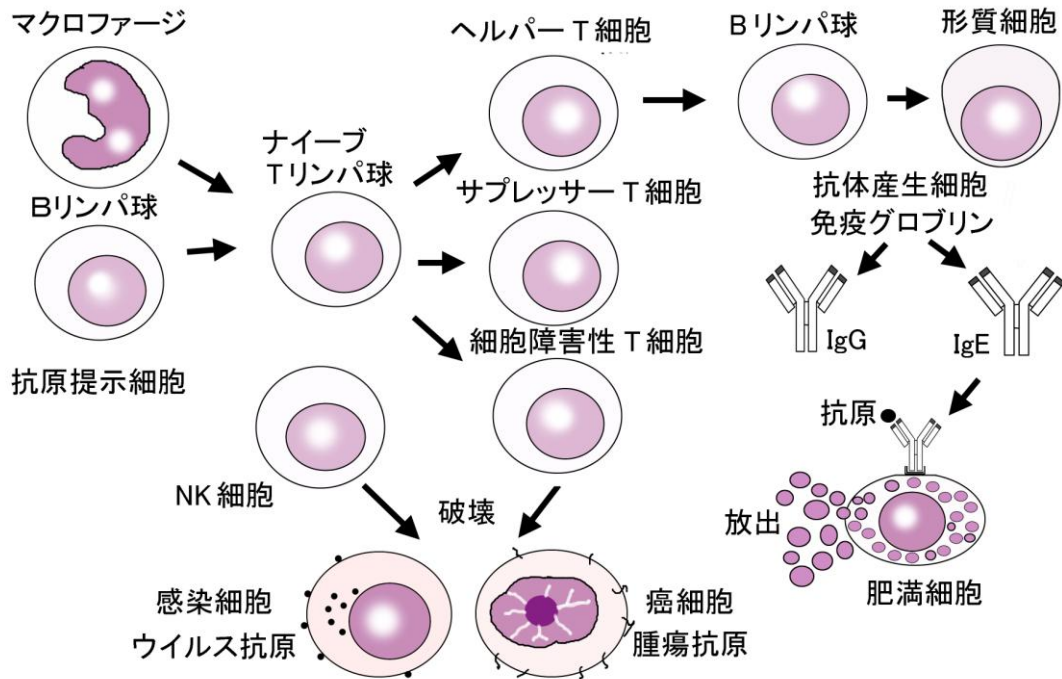


免疫反応に関わる細胞



抗原提示細胞

マクロファージ、樹状細胞、ランゲルハンス細胞、B リンパ球は抗原をナイーブ T リンパ球に提示する。

抗原認識細胞

ナイーブ T リンパ球は抗原提示細胞から抗原情報を受ける。

T リンパ球の種類

抗原情報を受けた T リンパ球は活性化して次に分化する。

- 1) ヘルパー T 細胞 (免疫反応の細胞性免疫を調節)
- 2) サプレッサー T 細胞 (免疫反応を終息に向かわせる)
- 3) 細胞障害性 T 細胞 (ウイルス感染細胞表面の抗原、腫瘍細胞表面の腫瘍抗原を認識して攻撃破壊する。(キラー細胞))

B リンパ球

ヘルパー細胞の補助を受けて免疫グロブリンを分泌する。分化成熟して形質細胞となり、抗体を盛んに分泌する。(体液性免疫)

肥満細胞

肥満細胞に結合した IgE に抗原が結合すると、顆粒を放出する。ヒスタミン、ヘパリンを分泌し、即時型アレルギーに関与する。

NK 細胞

ウイルス感染細胞や腫瘍抗原を認識して攻撃破壊する。

免疫発動の流れ

